



まちびと
MACHI-BITO

2019年 秋号 題字 三橋國民

発行日 2019年9月15日

発行 町田市市民部市民協働推進課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
町田市役所2F
TEL 042-724-4362 FAX 050-3085-6517

企画・制作 株式会社VisionDesign
〒194-0021 東京都町田市中町1-17-11-3F
TEL 042-711-7770 FAX 042-711-7804

表紙撮影 竹之下 三緒

6 特集1

町田ブランド

10 特集2

奈良 秀明

タッチラグビーは 自分が輝ける場所

12 街を歩く

原町田

14 THEまち人 file027

芝好園自治会

16 THEまち人 file028

町田市地域活動サポートオフィス

18 マチダdeグルメ

味にこだわる本格派

20 カイル・カードの商店街へGO!

第2回 中町商店街

22 Machibito-Snap

あなたが推す『町田ブランド』

24 まちびと写真館 其の十四

25 プレゼント&アンケート

26 まちびとひろば



この冊子は40,000部制作し、1部あたりの単価は69円です
(職員人件費を含む)

*本紙掲載の写真・記事等の無断転載および複写を禁じます
*尚、本紙の表記内容は2019年9月15日現在のものです



住まいを考える

真光寺・S邸

四季折々を感じる庭と木の家を慈しむ 夫婦二人のおだやかな暮らし

住まいの見学会への参加をきっかけに、暮らし替えを実現させたご夫妻。
庭と木のぬくもりのある住まいには、お二人の時間が静かに充ちていました。

「好奇心から鈴木工務店の住宅見学会へ参加したのをきっかけに木の家が好きになりました。何度か参加しているうちに、人生の暮らし替えのタイミングとも重なり、家づくりを決心しました」

そう話すのは、築17年の家に住むSさんご夫妻。ご主人はウォーキングや水泳を、奥様は生け花や庭のお手入れ、読書を趣味にされる活動的なお二人です。毎朝、毎夕、手入れを重ねた庭は、理想とする雑木林風に成長しました。

「目立つのではなく、通り過ぎてから振り返りたくなるような印象的な家に」と望んだ奥様。勾配の緩やかな階段アプローチと、母屋に取りつくゲートのような板張りの外物置、その先に覗く庭が、道行く人の目を楽ませています。

玄関を入ると大谷石を敷いた広い土間が。収納家具を衝立にして奥に吹き抜けのあるリビングが広がります。壁面の本

棚には奥様の蔵書がびっしり。庭を眺めながらここで読書をするのが日課です。

家全体は間仕切り壁が少なく、キッチンへの内窓のある板張りの浴室、吹き抜け上部のご主人コーナー、さらにロフトへの階段と続くひとつながりの空間です。

「風の通りがよく家の断熱性もいいので、夏は夜寝るときだけクーラーを。冬はOMソーラー*で家の中がなんとなく暖かい。前の家はトイレに行くにも誰かに代わってほしいくらい水まわりが寒かったのですが、今は家中に温度差がないので寒い時期でも身軽に動き回れます」

そう話すご主人は、雨の日などはオープンな家の中をウォーキングするそう。

「家は作り込まず後から暮らしに合わせしていくほうがいい。それから、依頼先にはたくさん事例を見せてもらおうことです」

家に手をかけ慈しむ毎日が心の安寧をもたらす「暮らし替え」を垣間見ました。



1. 1階リビング。現しの梁やチークの床が経年で艶やかに 2. 玄関アプローチ。木製物置(上部はテラス)の先に庭が覗きます 3. 中央は苗木だったハナミズキ。足元は満開のアガパンサス

※太陽の熱で家全体を暖めるシステム

Photo by 中村 絵

株式会社 鈴木工務店

195-0053 東京都町田市能ヶ谷 3-6-22
tel 042-735-5771 www.suzuki-koumuten.co.jp